



だより

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

Leave no one behind. We are always with you, and we always will.

号 数：令和4年度 第1号
発 行：令和4年5月11日
編 集：SGH推進室
発行責任者：中村義治（学校長）

1年SG
探究基礎

オーシャンクリーンアップキャンペーン

赤いジャージに身を包んだ1年生たちが、4月20日（水）に遠足の一環として「オーシャンクリーンアップキャンペーン」に参加しました。この活動の目的の1つは、「海洋ごみ問題」が決して遠い世界の話ではなく、実際に自分たちの身近で起こっている喫緊のグローバル課題であることを認識することです。フィールドワークを行った根上グリーンビーチで感じたこと、発見したことをもとに、今後は自分たちなりの解決策をデザインしていきます。

感想：砂浜に落ちていたプラスチックの破片を触るとかなり風化していて少し力を加えただけで崩れてしまった。そうしてできたマイクロプラスチックは本当に細かく、全て回収することはできなかった。また、落ちていた網の中には珊瑚や海藻が絡まっているものもあった。今日の活動を通して、知ってはいたがどこか他人事だった海洋ごみ問題の深刻さと海洋生物に与えている影響を実感することができた。



3年SG
コース

北アジア CAPE 交流

2年SG
コース

特別授業「未来を考える企業」

4月19日（火）に石川県国際交流協会と連携し、北アジアCAPE（ニュージーランドの公的機関）を通じて、ニュージーランドの大学で日本語を勉強している外国人大学生10名とZoomを通してSGコースの3年生がオンライン異文化交流を行いました。

昨年度から取り組んできた課題研究を英語で説明し、NZの大学生から助言を受けることで課題研究にグローバルな視野を取り入れました。リアルなコミュニケーションの場で、英語の即興力を高めたり、外国人に日本文化をわかりやすく日本語で伝える大切さを学ぶ機会にもなりました。

感想：質疑応答では拙い英語になってしまったけど、頑張っ て質問に答えることができた。その場で自分の考えを説明しようとする と難しい日本語ばかり思い浮かび英語に直せなかつたり浅いことしか言えなくて悔しかった。自分がちゃんと質問に答 えられるかも不安だったが、最後に褒めてもらえてすごく嬉しかったし、7月の成果発表会までには英語の即興力もプロジェクトを詳しく説明する力もつけて臨みたい。いい経験になったし、とても楽しかったです。

4月27日（水）に「SG探究」の授業で、SGコースの2年生が株式会社ユーグレナの北見裕介さんから「未来」に向けた企業実践についてお話を聞きました。特に、数年前から始まったCFO（Chief Future Officer「最高未来責任者」）制度では、18歳以下の若者たちを募り、未来の当事者視点で自分たちのアイデアをユーグレナとともに実現していくという本格的な取り組みが行われています。本校の生徒の皆さんもそのような刺激的な取り組みに連なっていくことを期待します。



感想：ユーグレナという社名や会社を始めたきっかけが他の企業と違い、社会問題の解決を重視していることが素晴らしいと感じました。そして、未来の大人である若い世代が自分事として未来の社会について考えるCFOの制度は画期的だと思います。